

“紅雲” 古希の手習い 切り絵 展

“紅雲” 古希の手習い切り絵展

切り絵作家： 紅 雲

(作者プロフィール)

1945年10月北九州で生まれる。

一週間が日曜日で埋め尽くされるようになった 3 年前、たまたま『古希の手習い』として年賀状用に切り絵で『羊』を作った際、その面白さに熱中し今日に至っている。

私の作品は、人を楽しませる以前に自分自身が楽しみたいこともあり、史実や物語の一場面に私の『妄想』を加味したものが多い。

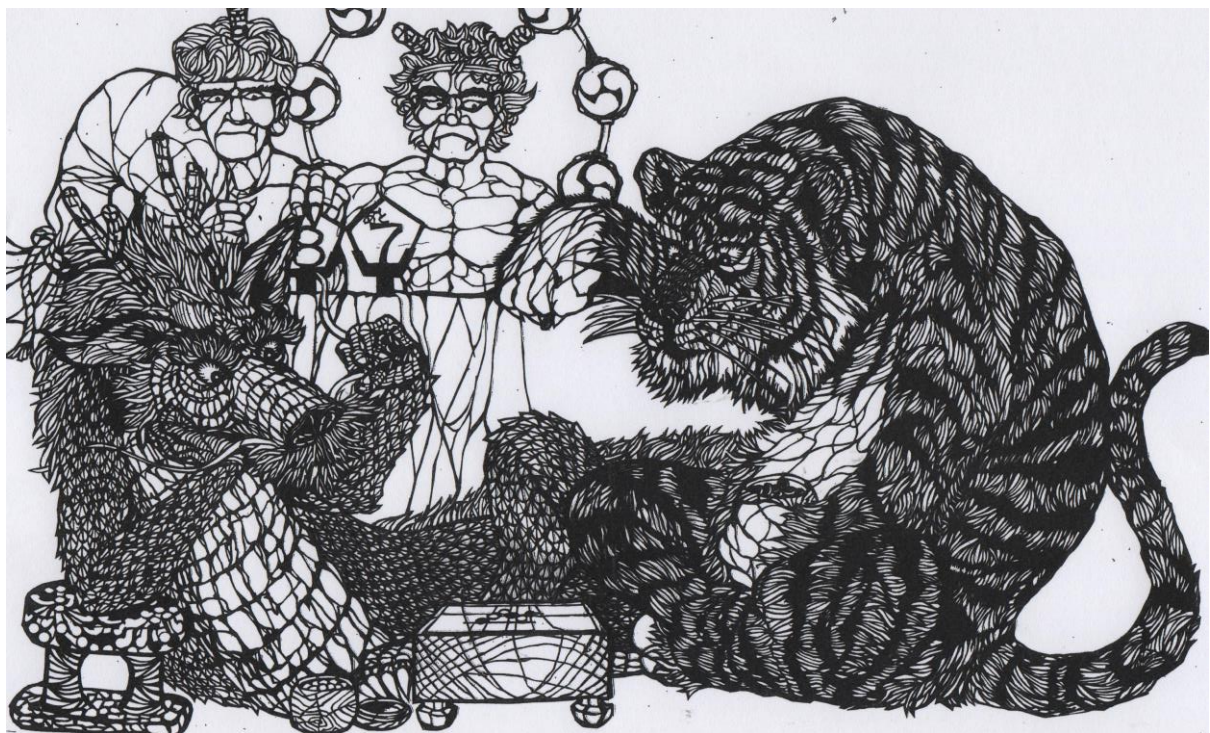
生来一つのことに夢中になる性格ゆえに、つつい細かい表現にこだわり、A4サイズの制作に30～50時間もかかってしまうのが常だが、苦に思ったこともない。

今後、不必要なほど細かい模様及び可能であれば、アイロニーなどを絵の中に潜ませて、観る人がそれらに気づいたとき、予得感に浸れるような、そんな切り絵を目指している。



<楠木正成>

正成は朝敵足利尊氏の征伐に出発した。といっても敵は三万超、見方はわずか数百である。つまり生還という選択肢を捨てた、まさに特攻であった。



<龍虎の戦い> 龍虎の囲碁の対決…と思いきや、よく見れば五目並べ。記録は風神と雷神。

10月1日(日)10時から16時 プロミティふちのペビル2階 切り絵18点ほど展示いたします。英訳・中訳の説明もあります。精密に研がれたデザインナイフ1本で制作した見事な作品をご覧ください。